

児童生徒の実態、教師の願い	本校の教育目標	保護者や地域の願い
	<p>児童生徒一人一人の発達段階や能力・特性に応じた教育を行うことにより、社会生活に必要な基本的諸能力を最大限に伸長し、心豊かでたくましい児童生徒の育成をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなと仲良く協力し合う児童生徒（豊かな情操の涵養） ・何事にもチャレンジする児童生徒（主体性の確立） ・明るく元気でたくましい児童生徒（健康と体力の保持増進） ・自分の役割を果たす児童生徒（基本的生活習慣の育成） 	

重点指導事項（高等部）		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」

各教育活動における取り組みの観点		学部の目標
日常生活の指導	○児童生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動を適切に指導する。	<p>高等部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等部では生徒一人一人の卒業後の豊かな社会参加をめざし、障害の状態及び発達段階や特性等に応じた指導を行う。 ・地域社会との積極的なかかわりの中で生活経験を深め、生活自立に必要な知識・技能・態度の習得と将来の社会生活や職業生活に適応できる調和のとれた心身の発達を促すことができるようとする。

家庭との連携	地域・企業との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を活用した緊密な連絡 ・基本的生活習慣の確立に向けての協力 ・学校だよりや学部だより等での啓発 ・地域の行事や連携会議、公開講座等への参加の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくり ・地域における特別支援教育のセンター的機能の充実促進 ・佐沼高等学校、青年会議所との交流及び地域清掃等をとおしての地域交流の促進 ・運動会、ゆめ花祭、イオン販売、学校公開等を通しての理解啓発 ・個別の教育支援計画策定をとおした関係機関との緊密な連携の構築